

一 般 質 問 通 告 書

2025年8月26日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 2 番 松木 純子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発 言 事 項	全国から行きたくなる魅力ある学校づくりについて
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
高島市は「第2次高島市総合計画 後期基本計画」の中で、子育て・教育 政策分野において、「誕生から高齢期まで人生をあゆみたくなるまちづくり」や「郷土愛と誇りを育むひとづくり」を推進しています。第1次高島市総合計画においては、幼児教育の充実、小中一貫校の推進や地域に根差した特色ある学校づくりなどに取り組んできました。しかしながら、転出超過傾向が続き大学等へ進学するために市外に転出した人が、再び転入する動機を生み出せていない状況が推察されます。 自己実現のために市外に転出したとしても、将来帰ってきたくなる高島に、また、子どもを産み育てたくなる高島となるような学校づくりに取り組んでいきたいと考えます。例えば大津市葛川小・中学校は市内全域から生徒募集されていますし、島根県隠岐島の高校は「島留学」として日本全国からの生徒募集しておられ200人以上の受け入れをして来られています。 マキノ地域の小学校は3つの小学校を統合し、マキノ中学校に隣接した小学校を新築する計画があります。そこでマキノの小学	

校のハード面において、市長は木質校舎の建設を目標としています。これは、「木材を活用した学校づくりで学習環境の改善、地域を元気に」とのコンセプトに基づいています。文部科学省も木材利用を推進しており、平成26年7月発行の「全国に広がる 木の学校 ～木材利用の事例集～」には次のように記されています。

平成24年度に新しく建築された学校1,217棟で、そのうち916棟（75.3%）の建物で木材が使用されています。

木材利用にはどんなメリットがあるのでしょうか。

- ① 柔らかで温かみのある感触や優れた調湿効果により、豊かで快適な学習環境が形成されます。
- ② 森林の保全、地域の産業や地球環境問題などについて学習する教材としての活用できます。
- ③ 地域材や地場の職人の技術の活用により、地域経済の活性化や地場産業の振興につながります。
- ④ 鉄やアルミウム等に比べて、材料製造時に要するエネルギー量が少なく炭素を貯蔵するための温暖化抑制に寄与します。
- ⑤ 学校づくりを通じた、地域とのコミュニティ形成や木の文化の継承の機会を提供します。

文部科学省が勧めているように、自然豊かな高島の木ぬくもりのある校舎を使いながら、教育はマキノの自然や歴史を学び、心身共に健康な子どもを育てるというコンセプトで全国に誇れる学校を目指してはどうでしょうか。統合に向けて魅力ある学校づくりのためにソフト面について質問します。

- ① 写真家で有名な今森光彦さんは、マキノ高原で「里山昆虫教室」を開催されています。毎年申し込み多数の人気の教室です。今森さんに協力していただき、「里山昆虫教室」を学校で取り組むことで人を呼び込む目玉の一つに提案したいと思いますがいかがか伺います。
- ② 昨年、市制20周年事業で行った歩行計測をご存知でしょうか。背中と腰にセンサーのついたベストを着て、10m歩くと自然な状態での身体の歩き癖がデータで見ることができ、データに基づいた理学療法士が進める体操を毎日の朝の会で2.3分体操を続けます。学期ごと1回の歩行計測と毎日の体操を続けることで子どもたちの身体の癖が整い、怪我の減少にも

つながります。クラスの落ち着きにも効果が見られ、長野県佐久市では市をあげて取り組んでおられます。従業員の健康と怪我の予防のために利用されている企業もあります。子どもたちの健康プログラムとして取り入れることで、子どもたちの健康にも力を入れているというアプローチにもなりますので、全国から行きたくなる学校をめざし、モデル的にマキノの学校で取り組んでみてはどうか伺います。

- ③先進的な取り組みをするにはコストがかかります。統合することで削減される人件費や運営費、維持費などを、新しい取り組みの費用に充てることを検討してみてはどうか伺います。（パネル説明）
- ④新しい学校の取り組みに賛同していただける方にふるさと納税してもらい、市の財源としている自治体もあります。ふるさと納税時に、明確にこれらの事業に充てることを示し、事業の運営に役立てます。このようにふるさと納税の活用も考えてみてはいかがでしょうか。